

●新発田市の道の駅について

Q.

全国の色々な所を巡っては道の駅に出かける旅を趣味にしております。

色々な道の駅を訪ねてみて、最近では観光地が目的ではなく道の駅を目的地として出かけている方々が本当に多く週末は駐車場が満車になるほどです。

それで新発田市東新町にあるウオロクの付近の宅地が東豊小学校側はハウスメーカーに声をかけいくぶん土地が売れ家が建っていますが、ウオロク側の宅地予定地がなかなか最近の資材高で家が建たないと聞いてあれだけの広い土地、付近には五十公野公園、野球場、サンビレッジ、近くにはあやめの湯温泉があり足をのばせばすぐにスキー場もあります。RVパークの設置ならウオロクがあるのもベストです。

農家も多いので農作物の販売も可能です。道の駅を持ってきたらなお新発田の観光になり雇用も生まれます。住宅地だけでは勿体ないです。

道の駅の作り方を調べると市町村が中心となり地域おこしとして作られるとあり、ますます新発田市の観光に良いのではと感じました。

是非検討をしてはいただけないでしょうか。よろしくお願いします。

(令和8年7月受付)

A.

道の駅につきましては、御承知のとおり24時間無料で使えるトイレや駐車場など、ドライバーが安心して休憩できる場所としての機能と、近隣の道路情報や観光情報のほか、地元の特産品販売や飲食が楽しめるなど、地域の活性化や、防災拠点としての機能を有しております。近隣では阿賀野市の「道の駅あがの」が、この代表的な施設であり、1990年代全国で多くの道の駅が誕生しましたが、建設から30年程度経過しており、近年、各地で新設やリニューアルが行われております。

当市の「道の駅加治川」につきましては、令和4年度にリニューアルオープンしたところであり、「ピクニック」をコンセプトに、道の駅の基本的な機能に加え、「大峰山の山桜まつり」や「アスパラ横丁」といった地域の特性を活かしたイベントのほか、地域の特産品販売やパン工房が併設する市の重要な防災・物流道路として機能する国道7号線沿いの道の駅として、多くの方に御利用いただいております。

御提案いただきましたウオロク脇のエリアについては、都市計画法上、準工業地域に指定されており、住宅や商業施設など幅広い用途で活用できる土地であります。当該地域は、東豊小学校にも近く、子育て世代の転入が盛んな地区として、新興住宅地の造成が進んでいることや、周辺には商業施設が集積しており、本来、国道や県道などの幹線道路沿いに点在する道の駅の機能が、この場所では十分発揮できないものと考えております。

このたびの御提案は、道の駅に限らず、地域の魅力を引き出し、地域活性化に大いに役立つ貴重な視点であることから、今後のまちづくりの参考にさせていただくとともに、まずは「道の駅加治川」の更なる魅力向上と賑わい創出に向け、引き続き、注力してまいりたいと考えております。

(令和8年8月5日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。